

### 光林会

北海道森と緑の会の助成を受けていることもあり、  
会員87名のうち最多が70代の高齢組織ながら、  
例年のイベント参加には精力的に取り組む。

### 林業試験場OBが 毎年イベントに参加

〈光林会〉は、美唄市にある  
北海道立総合研究機構森林研  
究本部林業試験場の職員やO  
Bの組織。毎年夏休みに開催  
される林業試験場のイベントで  
はさまざまなプログラムを提供  
し、人気を博しています。

#### 恒例の行事に全力集中

平成15年に、林業試験場の  
旧職員と現職員の有志が設立  
した同会は、林業試験場と連  
携して地域住民に森林やみど



りの環境への理解を深めてもら  
うことを目的としています。  
その活動の中心は、毎年7  
月に林業試験場と一体になり開  
催している「夏休みグリーンフ  
ェスティバル」で、さまざまな  
プログラムを提供すること。こ  
の恒例イベントへの参加は強制  
ではありませんが、多くの会  
員が差し入れを持参したり、  
年に一度の再会を楽しみにして  
いるといえます。

#### 人気プログラムを提供

イベントが地域の幼稚園児・  
小中学生とその父母を対象と  
しているため、同会と林業試  
験場が提供するプログラムは  
実際からだを使う体験もの  
が主体。葉っぱから香水をつ  
くったり、小枝を鉛筆に加工  
したり、ハチミツしぼりやさし  
木の体験、葉っぱスタンプでの  
エコバッグづくり、美唄の森林  
植物の標本作成など、多岐に  
わたります。そのほかにクイ  
ズやゲーム、コンサートなども  
行っており、イベント実施で同  
会はなくてはならない存在に  
なっています。  
また、現職会員が得意分野

### 気候の厳しい稚内で 笹原を憩いの森に



〈地球温暖化防止・北のてっぺ  
ん緑化プロジェクト実行委員  
会〉は、稚内新エネルギー研  
究会と自治体や公的機関が主  
体となり、住民と行う森づく  
りを通して地球温暖化予防に  
取り組んでいます。

#### 官民体で森づくり

同実行委員会は、地域住  
民・事業者・各種団体・行  
政機関で構成される稚内新エ  
ネルギー研究会と、稚内市・  
宗谷森林管理署・宗谷総合  
振興局が主催して、平成17年  
に発足。環境省自然環境局  
稚内自然保護官事務所や稚  
内市森林組合など、緑化につ  
ながるさまざまな公的団体の  
後援も受けながら、無立木地  
の解消と、森林造成の意識の  
啓発を柱に活動しています。  
目指すのは、行政と地域住

#### 無立木地に約6千本を植栽

初年度には、稚内市字メク  
マ国有防風保安林内0・30ha  
の無立木地に107名が集ま  
り、アカエゾマツ・ミズナラ・  
ダケカンバ・ヤナギ1100本  
を植栽しました。

以降は、植栽地の選定や活  
着状況調査、下刈り、殺鼠剤  
散布の方法と時期を協議しな

民が一緒に考え実践する協働  
の森づくり。年3回構成メン  
バーが集まって話し合い、苗  
木づくりから植樹・下刈り・  
間伐などの保育管理までの作  
業を計画的に行っています。

がら活動。平成23年までは必  
要な苗木を市有林や国有林か  
ら山取り採取しながら、国有  
地や市有地など計8カ所、約  
1・32haに約6千本の苗木を  
植栽しました。



から生み出し、長年同じ会員  
が担当し続けているプログラム  
は、恒例企画として常連来場  
者の人気を集めています。炭  
火で焼く親子バームクーヘンづ  
くり、試験場構内に流れる小  
川で水中生物を探しながらの  
サリづくりりなど、内容も個  
性豊かです。

#### 旧交を温める2つの総会

もうひとつの活動は、通常  
総会の隔年開催と総会前の学  
習会の実施です。高齢の会員  
には総会が旧交を温める場と  
なっていることから、通常総



会のない年には臨時総会を開  
催。40代から80代までの世代  
間交流も行われています。



#### 地域住民が数多く参加

森づくりの課題としては厳  
しい気象条件に加え、近年は  
エゾシカの食害が急増。最も  
被害を受けた稚内公園には、  
北海道森と緑の会の助成でシ  
カ侵入防止柵を設け、被害地  
には改めて植栽を行いました。  
植樹は地域住民が参加でき  
る人気の活動で、新聞などで  
広く呼びかけると多くの人が  
が集います。参加者からは「植  
えた木が早く大きくなり、笹  
原を憩いの森に」との願いも  
聞かれるようになり、植樹活  
動は意識の醸成にも寄与。同  
会の働きにより、地域住民の  
ボランティア活動が森をつく  
る道筋ができました。



## 02 地球温暖化防止・北のてっぺん緑化プロジェクト実行委員会

現場での保育管理に携わるのは、林業、農業、  
建設業といったさまざまな職種の会員たち。年齢  
層は35歳～70歳と厚い。